

アサイドカンファレンス■, 2003, 9, 東京.

- 19) 田口芳治, 高田麻衣子, 道具伸浩, 浅岡悦子, 高嶋修太郎: 高齢で発症し, IVIg療法が有効であったシェーグレン症候群に伴う感覚性運動失調型ニューロパチーの1例. 第5回北陸神経免疫フォーラム, 2003, 9, 金沢.
- 20) 藤木 明: 不整脈といわれたら. 第12回産業保険担当者健康セミナー, 2003, 11, 富山.
- 21) 藤木 明: 不整脈といわれたら. 健康講話, 2003, 11, 富山.
- 22) 藤木 明: 持続性心房細動に対する抗不整脈薬治療の新しいアプローチ. 不整脈と薬物治療 福井セミナー, 2003, 1, 福井.
- 23) 藤木 明: 日常診療における不整脈診断の新しい試み. 能登地区循環器内科講演会, 2003, 11, 七尾.
- 24) 道具伸浩, 高嶋修太郎, 浅岡悦子, 田口芳治, 井上 博: 過去7年間に当科で経験した脳炎に関する考察. 第28回富山県臨床神経研究会, 2003, 11, 富山.
- 25) 常田孝幸, 藤木 明, 阪部優夫, 西田邦洋, 菅生昌高, 水牧功一, 井上 博: 心機能低下例の持続性心房細動に対する薬理的除細動. 第17回北陸不整脈薬物治療研究会, 2003, 11, 金沢.
- 26) 阪部優夫, 藤木 明, 常田孝幸, 水牧功一, 井上 博: 心房細動治療におけるACE阻害薬併用の意義~イヌ心房高頻拍刺激モデルによる検討~. 第30回抗不整脈薬併用療法研究会, 2003, 12, 東京.

内 科 学 (3)

Internal Medicine (3)

教 授	渡辺 明治	Akiharu Watanabe
助 授	高原 照美	Terumi Takahara
助教授(前)	樋口 清博	Kiyohiro Higuchi
講 師	清水 幸裕	Yukihiko Shimizu
講 師	峯村 正実	Masami Minemura
助 手	加藤 勤	Tsutomu Kato
助 手	北 啓一朗	Keiichiro Kita
助 手	新敷 吉成	Yoshinari Atarashi
助 手	折原 正周	Tadahiro Orihara
助 手	村上 純	Jun Murakami
助 手	矢田 豊	Yutaka Yata
技 官	桑原 芳弘	Yoshihiro Kuwabara

◆ 著 書

- 1) Takahara T., Yata Y., Zhang L. P., Watanabe A.: Gene expression of matrix metalloproteinases in acute and chronic liver injuries. In: Extracellular Matrix and the Liver-Approach to Gene Therapy (eds. Okazaki I., Ninomiya Y., Friedman SL., Tanikawa K.), Academic Press, Amsterdam, 333-346, 2003.
- 2) 渡辺明治: 肝不全. 「新臨床内科学〔コンパクト版〕第3版」高久史磨他編, 297-298, 医学書院, 東京, 2003.
- 3) 渡辺明治: 肝硬変 肝性脳症. 「消化器疾患 最新の治療」戸田剛太郎他編, 2003~2004, 333-335, 南江堂, 東京, 2003.
- 4) 渡辺明治: 脾腫大. 「内科学 第8版」杉本恒明, 小俣政男, 水野美邦総編集, 152-154, 朝倉書店, 東京, 2003.
- 5) 渡辺明治: 肝腫大. 「内科学 第8版」杉本恒明, 小俣政男, 水野美邦総編集, 151-152, 朝倉書店, 東京, 2003.
- 6) 渡辺明治: 慢性肝炎にみられる認知機能の異常. 「消化器診療二項の秘訣」加嶋 敬編, 136-137, 金原出版社, 東京, 2003.
- 7) 渡辺明治: 小腸の働き. 「小腸機能からみた経腸栄養ハンドブック」渡辺明治編著, 9-16, メディカルレビュー社, 大阪, 2003.
- 8) 渡辺明治: 食べることの意味. 「小腸機能からみた経腸栄養ハンドブック」渡辺明治編著, 23-30, メディカルレビュー社, 大阪, 2003.
- 9) 渡辺明治: 栄養素を計算するのに参考になる式.

- 「今日の病態栄養療法」渡辺明治, 福井富穂編, 339-344, 南江堂, 東京, 2003.
- 10) 渡辺明治: 健康機能食品とその活用。「今日の病態栄養療法」渡辺明治, 福井富穂編, 335-338, 南江堂, 東京, 2003.
 - 11) 渡辺明治: 代表的な輸液剤と経腸栄養剤の一覧。「今日の病態栄養療法」渡辺明治, 福井富穂編, 324-334, 南江堂, 東京, 2003.
 - 12) 渡辺明治, 明 満喜子: 各疾患時の栄養療法 2) 肝疾患。「今日の病態栄養療法」渡辺明治, 福井富穂編, 145-149, 南江堂, 東京, 2003.
 - 13) 渡辺明治, 矢田 豊, 村上 純, 加藤 勤, 折原正周, 新敷吉成, 安村 敏, 北 啓一朗, 高原照美, 清水幸裕, 峯村正実: 腫瘍内科の診療と臨床教育—未来をみつめて(座談会)。「腫瘍内科学への道—温かい人間性と先端医療の調和を求めて」渡辺明治編, 140-175, メディカルレビュー社, 東京, 2003.
 - 14) 高原照美: 肝線維化の分子機構と発癌への関与—治療の現状。「腫瘍内科学への道—温かい人間性と先端医療の調和を求めて」渡辺明治編, 2-8, メディカルレビュー社, 東京, 2003.
 - 15) 清水幸裕: インターフェロン治療と肝癌予防。「腫瘍内科学への道—温かい人間性と先端医療の調和を求めて」渡辺明治編, 9-15, メディカルレビュー社, 東京, 2003.
 - 16) 峯村正実: 肝炎ウイルス遺伝子の構造と機能からみた肝発癌メカニズム。「腫瘍内科学への道—温かい人間性と先端医療の調和を求めて」渡辺明治編, 16-23, メディカルレビュー社, 東京, 2003.
 - 17) 時光善温: 肝炎ウイルスに特異的な抗体遺伝子の同定と抗体医薬品の開発。「腫瘍内科学への道—温かい人間性と先端医療の調和を求めて」渡辺明治編, 24-28, メディカルレビュー社, 東京, 2003.
 - 18) 矢田 豊: 肝細胞癌のラジオ波焼灼療法—その実際と今後の展開。「腫瘍内科学への道—温かい人間性と先端医療の調和を求めて」渡辺明治編, 29-35, メディカルレビュー社, 東京, 2003.
 - 19) 平野克治: 進行肝細胞癌の予後の改善を目指して—遺伝子治療と免疫療法。「腫瘍内科学への道—温かい人間性と先端医療の調和を求めて」渡辺明治編, 36-41, メディカルレビュー社, 東京, 2003.
 - 20) 新敷吉成, 渡辺明治: 栄養, 輸液, 電解質製剤ビタミン薬・栄養輸液。「治療薬 Up-to-Date 2003」矢崎義雄監修, 675-679, メディカルレビュー社, 大阪, 2003.
 - 21) 新敷吉成: 生体部分肝移植の現状と課題。「腫瘍内科学への道—温かい人間性と先端医療の調和を求めて」渡辺明治編, 42-49, メディカルレビュー社, 東京, 2003.
 - 22) 安村 敏: 肝再生医療への期待—幹細胞移植療法を中心に。「腫瘍内科学への道—温かい人間性と先端医療の調和を求めて」渡辺明治編, 50-57, メディカルレビュー社, 東京, 2003.
 - 23) 折原正周: 早期胃癌のEMRの適応拡大とその限界。「腫瘍内科学への道—温かい人間性と先端医療の調和を求めて」渡辺明治編, 58-63, メディカルレビュー社, 東京, 2003.
 - 24) 小川加奈子: Helicobacter pyloriの遺伝子と病原性解析—特に胃癌との関連性。「腫瘍内科学への道—温かい人間性と先端医療の調和を求めて」渡辺明治編, 64-69, メディカルレビュー社, 東京, 2003.
 - 25) 宮寄孝子: 大腸癌の病態発生, 進展と機序—Fas誘導アポトーシスを中心に。「腫瘍内科学への道—温かい人間性と先端医療の調和を求めて」渡辺明治編, 70-76, メディカルレビュー社, 東京, 2003.
 - 26) 品川和子, 岩本真也: 炎症性腸疾患の発癌とその対策。「腫瘍内科学への道—温かい人間性と先端医療の調和を求めて」渡辺明治編, 77-83, メディカルレビュー社, 東京, 2003.
 - 27) 大澤幸治: 胆道癌の内視鏡診断と治療の進歩。「腫瘍内科学への道—温かい人間性と先端医療の調和を求めて」渡辺明治編, 84-90, メディカルレビュー社, 東京, 2003.
 - 28) 北 啓一朗: 肺癌の新しい画像診断と治療体系。「腫瘍内科学への道—温かい人間性と先端医療の調和を求めて」渡辺明治編, 91-99, メディカルレビュー社, 東京, 2003.
 - 29) 加藤 勤: 造血器腫瘍の遺伝子診断と分子標的治療。「腫瘍内科学への道—温かい人間性と先端医療の調和を求めて」渡辺明治編, 100-105, メディカルレビュー社, 東京, 2003.
 - 30) 村上 純: 造血幹細胞移植の現状と課題。「腫瘍内科学への道—温かい人間性と先端医療の調和を求めて」渡辺明治編, 106-111, メディカルレビュー社, 東京, 2003.
 - 31) 江幡和美: 白血病の免疫細胞療法とその展望。「腫瘍内科学への道—温かい人間性と先端医療の調和を求めて」渡辺明治編, 112-119, メディカルレビュー社, 東京, 2003.
 - 32) 北 啓一朗: 癌の告知とQOLの評価。「腫瘍内科学への道—温かい人間性と先端医療の調和を求めて」渡辺明治編, 126-131, メディカルレビュー社, 東京, 2003.

社, 東京, 2003.

◆ 原 著

- 1) Takahara T., Zhang L. P., Yata Y., Xue F., Minemura M., Sato H., Watanabe A.: Modulation of matrix metalloproteinase-9 in hepatic stellate cells by three-dimensional type I collagen: its activation and signaling pathway. *Hepatology*, 26:318-326, 2003
- 2) Shimizu Y., Minemura M., Murata H., Hirano K., Nakayama Y., Higuchi K., Watanabe A., Yasuyama T., Tsukada K.: Preferential accumulation of CD103+ T cells in human livers; its association with extrathymic T cells. *J. Hepatology*, 39:918-924, 2003.
- 3) Yata Y., Scanga AS., Gillan A., Yang L., Reif S., Breindl M., Brenner DA., Rippe RA.: DNase I-hypersensitive sites enhance $\alpha 1(I)$ collagen gene expression in hepatic stellate cells. *Hepatology*, 37:267-76, 2003.
- 4) Murata H., Shimizu Y., Okada K., Higuchi K., Watanabe A.: Detection and analysis of intracytoplasmic cytokines in peripheral blood mononuclear cells in patients with drug-induced liver injury. *J. Hepatology*, 38:573-582, 2003.
- 5) Xue F., Takahara T., Yata Y., Kuwabara Y., Shinno E., Nonome K., Minemura M., Takahara S., Li X., Yamato E., Watanabe A.: Hepatocyte growth factor gene therapy accelerates regeneration in cirrhotic mouse livers after hepatectomy. *Gut*, 52:694-700, 2003.
- 6) Ogata N., Takashima S., Shimaki K., Kitajima I., Watanabe A.: Antibody to hepatitis B surface antigen (Anti-HBs) induced by a recombinant hepatitis B vaccine consisting of subtype adr antigen is under estimated on the World Health Organization (WHO)-standardized assay. *Int. Med.*, 42:446-447, 2003.
- 7) Reif S., Lang A., Lindquist JN., Yata Y., Gabele E., Scanga A., Brenner DA., Rippe RA.: The role of Focal Adhesion Kinase-Akt signaling in hepatic stellate cell proliferation and type I collagen expression. *J. Biol. Chem.*, 278:8083-8090, 2003.
- 8) Morioka C. Y., Machado M. C. C., Saito S., Godoy, R. S., Cunha, J. E., Takahara, T., Bacchella, T., Matheus, A. S., Saito M., Watanabe A.: "Return trip" metastases from the liver to pancreas in Syrian golden hamsters- Is it a "single journey" in older hamsters? *Gut*, 52:A113, 2003.
- 9) Morioka, C.Y., Machado M. C. C., Saito S., Godoy R. S., Cunha J. E., Yamago G. I., Bacchella T., Jukemura J., Watanabe, A.: Antisense oligonucleotides specific to mutated K-ras gene could inhibit the tumoral growth in Syrian golden hamsters in vitro and in vivo. *Gut*, 52:A240, 2003.
- 10) 渡辺明治, 清水幸裕, 岡田和彦, 安村 敏, 峯村正実: Reverse immunogenetics法を用いたB型肝炎の病態解析-Lamivudine治療と関連して. 犬山シンポジウム記録 24:66-71, 2003.
- 11) 安村 敏, 樋口清博, 多葉田祥代, 道野淳子, 西野主眞, 三崎拓郎, 北島 勲, 渡辺明治, 塩原康司, 平井 肇, 西野治身, 鍛冶友昭: 抗IgA抗体保持者の抗体価測定の意義と輸血上の対応. 日本輸血学会雑誌 49:646-652, 2003.
- 12) 多葉田祥代, 安村 敏, 道野淳子, 西野主眞, 三崎拓郎, 樋口清博, 渡辺明治: 輸血によるC型肝炎患者の掘り起こしについて. 日本輸血学会誌, 49:411-418, 2003.
- 13) 椎名秀一朗, 寺谷卓馬, 佐藤新平, 建石良介, 金原 猛, 石川 隆, 菅田美保, 山敷宣代, 小尾俊太郎, 能祖一裕, 矢田 豊, 小俣政男: 肝癌に対する経皮的ラジオ波焼灼術(RFA). *Jpn. J. Intervent. Radiol.*, 18:128-132, 2003.
- 14) Murakami J., Fukushima N., Ueno H., Saito T., Watanabe T., Tanosaki R., Kobayashi Y., Matsuno Y., Tobinai K.: Primary hepatic low-grade B-cell lymphoma of the mucosa-associated lymphoid tissue type: a case report and review of the literature. *Int. J. Hematol.*, 75:85-90, 2002 (2002年追加).

◆ 症例報告

- 1) Aiba N, Murakami J.: A possible case of transmission of cytomegalovirus from a breast-fed infant to its father. *Kansenshogaku Zasshi*, 77:346-347, 2003.
- 2) 北 啓一朗, 大澤幸治, 山崎秀徳, 真野鋭志, 渡辺明治: 経口摂取によりrefeeding syndromeとしての低リン血症をきたしたAnorexia Nervosaの1例. *心療内科*, 7:418-423, 2003.

- 3) 安藤孝将, 品川和子, 南部修二, 清水幸裕, 新敷吉成, 峯村正実, 樋口清博, 渡辺明治, 高川清: 高齢発症の自己免疫性肝炎による急性型劇症肝炎の1例. 日消誌, 100:344-348, 2003.
 - 4) 工藤 浩, 金山雅美, 山田一樹, 中村 暁, 伊藤博行, 七澤 洋, 田中三千雄: クリッピングにより止血し得た大腸憩室出血の3例. 日本消化器内視鏡学会甲信越・北陸地方会雑誌, 19:63-66, 2003.
 - 5) 山田一樹, 稲土修嗣, 圓谷朗雄, 日置 将, 岡田和彦, 大和太郎, 長谷川 洋, 前田宜延: Barrett食道腺癌の2例. Endoscop. Forum Dig. Dis., 18:18-22, 2002 (2002年追加).
 - 6) 山田一樹, 田中三千雄, 稲土修嗣, 前田宜延: 表在型Barrett腺癌の1例. 消化器内視鏡, 14:1173-1176, 2002 (2002年追加).
 - 7) 金山雅美, 中村 暁, 伊藤博行, 七澤 洋, 田中三千雄: アルゴンプラズマ凝固法 (APC) にて消失したvascular ectasiaの1例: Endoscop. Forum Dig. Dis., 18:32-35, 2002 (2002年追加).
 - 8) 福居和人, 高嶋修太郎, 田口芳治, 矢崎敏之, 麻野井英次, 高田正信, 井上 博: γグロブリン大量静注療法が奏功した急性自律神経性感覚性ニューロパチーの1例. 日本内科学会雑誌 91:734-736, 2002 (2002年追加).
- ◆ 総 説
- 1) 渡辺明治: 腸管免疫を考えた栄養管理. Nutrition Care Report 2:1-4, 2003.
 - 2) 渡辺明治, 森脇久隆, 加藤章信, 寺本房子: 肝疾患における栄養評価と治療のコンセンサス—E BN標準治療をめざして— (座談会). 栄養—評価と治療 20:181-196, 2003.
 - 3) 渡辺明治: 肝性網膜症. Modern Physician 23:139-141, 2003.
 - 4) 渡辺明治: 栄養士のための臨床技術アップセミナー「肝硬変における栄養治療」. 評価と治療 20:9-16, 2003.
 - 5) 渡辺明治: 機能性食品科学—食品からの創薬, ゲノム創食へ. Pharma Med 21:134-152, 2003.
 - 6) 渡辺明治: ポストゲノム時代の「食からの創薬」と「ゲノム創食」. 栄養—評価と治療 20:141-144, 2003.
 - 7) 渡辺明治, 新敷吉成, 矢田 豊: 肝硬変における蛋白・アミノ酸代謝異常とその是正—治療の原理を再考する. Pharma Med 21:147-160, 2003.
 - 8) 渡辺明治: 癌末期と高齢者の代謝特性. 栄養—評価と治療 20:307-311, 2003.
 - 9) 渡辺明治: 食品からの創薬, ゲノム創食. 日本病態栄養学会誌「病態栄養」6:133-140, 2003.
 - 10) 渡辺明治, 川崎康弘: 肝疾患と精神疾患との関連. 肝臓 44:317-332, 2003.
 - 11) 渡辺明治: 肝疾患. 特集: 病態別静脈経腸栄養法: 臨床ガイドラインの提案. 静脈経腸栄養 18:17-22, 2003.
 - 12) 渡辺明治: 肝疾患とアミノ酸・蛋白代謝 5. アミノ酸と免疫. 肝胆膵 47:33-39, 2003.
 - 13) 渡辺明治: 分岐鎖アミノ酸は肝硬変患者でみられる耐糖能低下を改善する. Modern Physician 23:1429-1434, 2003.
 - 14) 渡辺明治: アミノ酸による遺伝子制御. 栄養—評価と治療 20:470-477, 2003.
 - 15) 渡辺明治: 肝不全—治療の進歩. Pharma Med 21:169-180, 2003.
 - 16) 渡辺明治: 肝硬変: 肝不全の予防. Modern Physician 23:1688-1693, 2003.
 - 17) 渡辺明治: 潜在性肝性脳症—最近の話題. Pharma Med 21:181-189, 2003.
 - 18) 渡辺明治: 線維化治療薬pirfenidoneの作用機序と効果—肝線維化の治療薬として. Modern Physician 12:1549-1551, 2003.
 - 19) 大槻 眞, 林 櫻松, 渡辺明治, 荒川泰行, 広田昌彦: 生活習慣病と肝胆膵疾患 (座談会). 肝胆膵 46:229-247, 2003.
 - 20) 峯村正実, 渡辺明治: 肥満と脂肪肝—発症メカニズムと対処法. 内科 82:279-283, 2003.
 - 21) 安村 敏, 渡辺明治: プライマリ・ケアで診る「肝硬変」治療ガイドライン. Liv 3:5-8, 2003.
 - 22) 安村 敏, 樋口清博: 血液事業の現状. 小児外科 35:137-141, 2003.
 - 23) 新敷吉成, 渡辺明治: 肝性脳症の診断と治療法. 特集「肝硬変の病態とその対処法」. 月刊「Mebio」20:93-97, 2003.
 - 24) 新敷吉成, 渡辺明治: 高齢者の輸液と栄養. 臨床と研究 80:1049-1053, 2003.
 - 25) 矢田 豊, 高原照美, 渡辺明治: 肝線維化の分子メカニズム (目でみるバイオサイエンス). 内科 92:561-564, 2003.
 - 26) 矢田 豊, 渡辺明治: 血清蛋白, 膠質反応. 臨床と研究 80:226-231, 2003.
 - 27) 椎名秀一郎, 寺谷卓馬, 佐藤新平, 建石良介, 金原 猛, 石川 隆, 山敷宣代, 菅田美保, 小尾俊太郎, 吉田英雄, 五藤 忠, 矢田 豊, 能祖一裕, 小俣政男: 局所再発をいかに防ぐか. 肝胆膵 46:481-490, 2003.
 - 28) 渡辺明治, 村上 純: 検査値から読む病態と診

断計画 第1章 検査値から病態へのアプローチⅢ.
臨床医 28 (増刊号) 血液生化学検査 24 アミノ
酸その分画: 984-987, 中外医学社, 2002 (2002年
追加).

◆ 学会報告

- 1) Xue F., Takahara T., Nonome K., Yata Y., Shinno E., Watanabe A: Rho-kinase inhibitor suppresses tumor growth and intrahepatic metastases of hepatocellular carcinoma-in vitro and in vivo study. 54th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases, 2003, 10, Boston.
- 2) 渡辺明治: 食からの創薬, ゲノム創食へ. 第6回日本病態栄養学会総会 会長講演, 2003, 1, 京都.
- 3) 渡辺明治: 肝硬変の病態と治療. その可逆性を中心に. 第176回岡山腹腔鏡研究会, 2003, 2, 岡山.
- 4) 渡辺明治: 肝と栄養-アルブミンと経腸栄養を中心に. 第30回沖繩肝臓研究会, 2003, 2, 宜野湾.
- 5) 渡辺明治: 臨床栄養Update-エージング過程の免疫栄養, そしてゲノム創食へ. 糸魚川病院 第26回院内研修会, 2003, 3, 糸魚川.
- 6) 三原 弘, 折原正周, 矢田 豊, 新敷吉成, 北啓一朗, 加藤 勤, 安村 敏, 峯村正実, 清水幸裕, 高原照美, 樋口清博, 渡辺明治: 抜歯後発症したepidural abscessの1例. 第189回日本内科学会北陸地方会, 2003, 3, 石川.
- 7) 宮林千春, 寺尾ゆみ子, 塚田健一郎, 窪田芳樹: ラジオ波凝固療法 (RFA) による肝腫瘍の治療経験. 第10回あさま肝カンファレンス, 2003, 3, 佐久.
- 8) 渡辺明治: 肝臓病と栄養. クリニコ社員研修会, 2003, 4, 横浜.
- 9) 岩本真也, 折原正周, 草場亜矢子, 宮寄孝子, 小川浩平, 品川和子, 福田加奈子, 榎本伸哉, 若林泰文, 樋口清博, 渡辺明治: 肝病変と皮膚病変を合併した潰瘍性大腸炎の1例. 第89回日本消化器病学会総会, 2003, 4, 大宮.
- 10) 渡辺明治: 肝線維化の機序と治療法の展望. 第26回日本医学会総会, 2003, 4, 福岡.
- 11) 北 啓一朗, 大澤幸治, 山崎秀徳, 真野鋭志, 渡辺明治: 経口摂取によりrefeeding syndromeをきたした神経性無食欲症の1例. 第51回日本心身医学会中部地方会, 2003, 4, 名古屋.
- 12) 福田加奈子, 東 健, 宮寄孝子, 岩本真也, 品川和子, 榎本伸哉, 折原正周, 栗山 勝, 渡辺明治: H.pylori除菌成否に関する因子-クラリスロマイシン (CAM) 耐性. 第100回日本内科学会講演会, 2003, 4, 福岡.
- 13) 小方則夫, 高嶋修太郎, 島木貴久子, 北島 勲, 渡辺明治: B型肝炎ワクチン接種による獲得HBs抗体評価の問題. 第100回日本内科学会講演会, 2003, 4, 福岡.
- 14) 渡辺明治: 肝と栄養-創薬に向けて. 第10回フォーラム富山「創薬」, 2003, 5, 富山.
- 15) 渡辺明治: 肝不全の予防-肝硬変を治す. 第5回四国肝不全研究会, 2003, 5, 徳島.
- 16) 高原照美, 薛 峰, 矢田 豊, 真野鋭志, 野々目和信, 峯村正実, 渡辺明治: HGF遺伝子導入法を用いた肝再生不全の治療. 第39回日本肝臓学会総会, 2003, 5, 福岡.
- 17) 高原照美: 肝線維化の分子機構と治療薬開発の現状. 第10回フォーラム富山「創薬」, 2003, 5, 富山.
- 18) 清水幸裕: C型肝炎ウイルスに特異的な抗体遺伝子の同定と抗体医薬品. 第10回フォーラム富山「創薬」, 2003, 5, 富山.
- 19) 清水幸裕, 峯村正実, 岡田和彦, 南部修二, 菓子井良郎, 河相 寛, 新敷吉成, 樋口清博, 渡辺明治: ワークショップ2 「高ウイルス量HBe抗原陽性慢性肝炎に対するラミブジンとインターフェロンの併用療法」. 第39回日本肝臓学会総会, 2003, 5, 福岡.
- 20) 清水幸裕, 峯村正実, 村田浩之, 平野克治, 中山康弘, 樋口清博, 渡辺明治: 肝内胸腺外分化T細胞とCD103+Tリンパ球-肝疾患の病態形成に関連して-. 第39回日本肝臓学会総会, 2003, 5, 福岡.
- 21) 峯村正実, 清水幸裕, 中山康弘, 平野克治, 薛峰, 高原照美, 新敷吉成, 安村敏, 樋口清博, 渡辺明治: B型およびC型肝炎ウイルスcore蛋白による転写活性化能の相違. 第39回日本肝臓学会総会, 2003, 5, 福岡.
- 22) 新敷吉成, 安村 敏, 宮寄孝子, 小川浩平, 岩本真也, 樋口清博, 渡辺明治: Short interfering RNA (siRNA) によるヒト肝癌細胞株におけるHBs抗原発現の抑制. 第39回日本肝臓学会総会, 2003, 5, 福岡.
- 23) 矢田 豊, 高原照美, 渡辺明治, Richard A Rippe, David A Brenner: 肝線維化過程でのI型コラーゲン遺伝子発現におけるDNase I高感受性領域の影響. 第39回日本肝臓学会総会, 2003, 5, 福岡.

- 24) 村田浩之, 清水幸裕, 峯村正実, 平野克治, 中山康弘, 樋口清博, 渡辺明治. 原発性胆汁性肝硬変の病態形成における肝内活性化樹状細胞の関与—リンパ球除去療法の効果に関連して—. 第39回日本肝臓学会総会, 2003, 5, 福岡.
- 25) 薛 峰, 高原照美, 野々目和信, 矢田 豊, 真野鋭志, 渡辺明治: Combined treatment of ROCK inhibitor Y27632 and IL-12 synergistically suppress intrahepatic metastasis in vitro and in vivo. 第39回日本肝臓学会総会, 2003, 5, 福岡.
- 26) 安村 敏, 樋口清博, 新敷吉成, 加藤 勤, 村上 純, 小川浩平, 岩本真也, 宮寄孝子, 渡辺明治: 慢性肝疾患患者における末梢血幹細胞動態と動員能の検討. 第39回日本肝臓学会総会, 2003, 5, 福岡.
- 27) 渡辺明治, 矢田 豊, 村上 純, 加藤 勤, 折原正周, 新敷吉成, 安村 敏, 北 啓一朗, 高原照美, 清水幸裕, 峯村正実: 腫瘍内科の診療と臨床教育—未来をみつめて. 2003, 6, 富山.
- 28) 高原照美, 渡辺明治: シンポジウム2「肝障害におけるリモデリングと線維化治療のストラテジー」. 日本適応医学会第7回学術集会, 2003, 6, 米子.
- 29) 真野鋭志, 北 啓一朗, 大澤幸治, 新敷吉成, 安村 敏, 峯村正実, 清水幸裕, 高原照美, 渡辺明治, 安部秀樹, 塚田一博: 重症急性膵炎に対して経皮的膵仮性嚢胞ドレナージが奏功した1例. 第96回日本消化器病学会北陸支部例会, 2003, 6, 富山.
- 30) 平野克治, 清水幸裕, 時光善温, 中山康弘, 矢田 豊, 新敷吉成, 安村 敏, 峯村正実, 高原照美, 渡辺明治: 日本肝癌研究会, 肝外転移を来した肝細胞癌症例の検討. 第39回日本肝癌研究会, 2003, 6, 金沢.
- 31) 江幡和美, 清水幸裕, 中山康弘, 平野克治, 峯村正実, 村上 純, 加藤 勤, 渡辺明治: マウス白血病モデルにおける樹状細胞, NK細胞およびNKT細胞の解析. 第14回日本樹状細胞研究会, 2003, 6, 福岡.
- 32) 田尻和人, 瀬尾友徳, 三原 弘, 金山雅美, 折原正周, 清水幸裕, 高原照美, 渡辺明治, 坂東正, 塚田一博, 高川 清, 寺崎禎一: 腹腔鏡下組織生検により診断し得た大量腹水の1症例. 第190回日本内科学会北陸地方会, 2003, 6, 福井.
- 33) 塚田健一郎, 宮林千春, 寺尾ゆみ子, 窪田芳樹: 上部消化管内視鏡検査後に一過性全健忘を認めた1例. 第32回日本消化器内視鏡学会信越支部例会, 2003, 6, 長野.
- 34) 三原 弘, 折原正周, 宮寄孝子, 小川浩平, 岩本真也, 品川和子, 槇本伸哉, 加藤 勤, 渡辺明治, 野澤聡志, 高野康雄: 小腸内視鏡により術前に診断し得た悪性リンパ腫の1例. 第81回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 2003, 6, 富山.
- 35) 渡辺明治: エージング過程の免疫栄養とゲノム創食. 富山県内科医会総会, 特別講演, 2003, 7, 富山.
- 36) 和田暁法, 宮園卓宜, 草場亜矢子, 新敷吉成, 江幡和美, 村上 純, 加藤 勤, 渡辺明治: 診断困難であったBurkitt type ALL(L3). 第21回日本血液学会北陸地方会, 2003, 7, 金沢.
- 37) 渡辺明治, 清水幸裕, 岡田和彦, 安村 敏, 峯村正実: Reverse immunogenetics法を用いたB型肝炎の病態解析—Lamivudine治療と関連して—. 第24回犬山シンポジウム, 2003, 8, 犬山.
- 38) 渡辺明治: 肝疾患におけるアミノ酸代謝—代謝回転から遺伝子制御まで (マイクロからミクロへの考察), 第20回中国・四国肝臓病研究会, 2003, 9, 岡山.
- 39) 大澤幸治, 草場亜矢子, 蓮本祐史, 北 啓一朗, 渡辺明治: 精神科併設病院における心療内科の役割—院内依頼症例からみた検討—. 第52回日本心身医学会中部地方会, 2003, 9, 名古屋.
- 40) 田尻和人, 北 啓一朗, 大澤幸治, 中山康弘, 新敷吉成, 清水幸裕, 高原照美, 渡辺明治, 常山幸一: 肝障害をきたしその原因を組織学的に検討し得た栄養障害の2症例. 第191回日本内科学会北陸地方会, 2003, 9, 金沢.
- 41) 宮林千春, 安藤孝将, 蓮本佑史, 窪田芳樹: アルコール多飲により死に至ったいわゆる「困った患者さん」の検討. 第11回あさま肝カンファレンス, 2003, 9, 長野.
- 42) 渡辺明治: これからの医療におけるところと栄養—ポストゲノム時代への対応. 富山済生会病院院内研修会, 2003, 10, 富山.
- 43) 渡辺明治: 食で育む豊かなところ. 平成15年度しらゆり会総会 特別講演, 2003, 10, 富山.
- 44) 渡辺明治: 肝硬変の栄養治療—最近の動向と将来展望. サテライトシンポジウム「肝硬変・肝不全の栄養治療の進歩と将来—EBN: Evidence Based Nutritionのすすめ」, 2003, 10, 大阪.
- 45) 渡辺明治: これからの医療におけるところと栄養—ポストゲノム時代への対応. 水島地区肝疾患ネットワーク, 特別講演, 2003, 10, 倉敷.
- 46) 渡辺明治: 肝臓病における食事と生活習慣. 金

- 沢医科大学総合医学研究所市民公開セミナー、「肝臓を守ろう」生活習慣と肝臓病, 2003, 10, 26, 金沢.
- 47) 清水幸裕, 中山康弘, 平野克治. マウス劇症肝炎モデルに対するCTLA4-Igを用いた遺伝子治療の試み. シンポジウム3「肝疾患治療への免疫学の挑戦」. 第7回日本肝臓学会大会, 2003, 10, 大阪.
- 48) 峯村正実, 清水幸裕, 中山康弘, 平野克治, 山田一樹, 小川浩平, 宮崎孝子, 新敷吉成, 安村敏, 薛峰, 矢田 豊, 高原照美, 渡辺明治: C型肝炎ウイルスcore蛋白によるTGF- α の転写活性化. 第7回日本肝臓学会大会, 2003, 10, 大阪.
- 49) 岩本真也: 難治性潰瘍性大腸炎に対するリンパ球除去療法の有用性とその作用機序の検討. 日本輸血学会北陸支部例会, 2003, 10, 金沢.
- 50) 江幡和美, 清水幸裕, 宮園卓宜, 村上 純, 加藤勤, 渡辺明治: マウス白血病の進展における樹状細胞の関与. 第31回日本臨床免疫学会総会, 2003, 10, 東京.
- 51) 宮林千春, 蓮本佑史, 安藤孝将, 永井 稔, 片倉正文, 窪田芳樹, 稲場秀文: 肝細胞癌に対するクラスターニードルの使用経験. 第12回東京肝癌局所治療研究会, 2003, 10, 東京.
- 52) 宮林千春, 蓮本佑史, 安藤孝将, 永井 稔, 片倉正文, 窪田芳樹, 稲場秀文: 肝細胞癌に対するクラスターニードルの使用経験. 第113回日本内科学会甲信越地方会, 2003, 10, 新潟.
- 53) 渡辺明治: 肝臓栄養治療への提言: Evidence Based Nutrition. 肝臓栄養シンポジウム-BCAA製剤の15年の歩みと将来. 特別講演, 2003, 11, 東京.
- 54) 渡辺明治, 峯村正実: 自己免疫現象を伴う肝障害を呈した高齢者の1例. 平成15年度富山県内科医会CPC, 2003, 11, 富山.
- 55) 渡辺明治: 肝硬変: 肝不全の治療と肝癌の予防. 平成15年度日本肝臓学会教育講演, 2003, 11, 岡山.
- 56) 清水幸裕: ウイルス性肝炎の治療. 富山医科薬科大学附属病院地域医療連携研修会, 2003, 11, 富山.
- 57) 清水幸裕: 肝機能障害の一例(症例検討). 富山医科薬科大学附属病院地域医療連携研修会, 2003, 11, 富山.
- 58) 折原正周: ITナイフを用いた内視鏡的胃粘膜切除術の症例(症例検討). 富山医科薬科大学附属病院地域医療連携研修会, 2003, 11, 富山.
- 59) 榎本伸哉, 廣瀬雅代, 矢田 豊, 朴木博幸, 篠田晃一郎, 折原正周, 渡辺明治: ステロイド投与が奏功したヘノッホーシェーンライン紫斑病に伴う十二指腸潰瘍の1例. 第82回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 2003, 11, 石川.
- 60) 田尻和人, 清水幸裕, 中山康弘, 平野克治, 矢田 豊, 新敷吉成, 峯村正実, 北 啓一郎, 大澤幸治, 高原照美, 渡辺明治: 神経性食思不振症例にみられる肝障害についての臨床的検討. 第35回日本肝臓学会西部会, 2003, 11, 岡山.
- 61) 川西祥宏, 田尻和人, 折原正周, 清水幸裕, 高原照美, 渡辺明治, 多喜博文, 尾矢剛志: 肝にリポフスチンの異常沈着を認め腸管病変との関連が示唆された1例. 第97回日本消化器病学会北陸地方会, 2003, 11, 金沢.
- 62) 薄田勝男, 田中三千雄, ガブリエラ智子宮崎, 折原正周, 榎本伸哉, 岩本真也, 品川和子, 宮崎孝子, 小川浩平, 金山雅美, 坂東 毅, 小尾龍右: 拡大内視鏡にて絨毛形態のバリエーションを観察しえた十二指腸腺腫の1例. 第82回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 2003, 11, 石川.
- 63) 宮林千春, 蓮本佑史, 安藤孝将, 窪田芳樹, 森田誠市, 唐木芳昭, 一條哲也: 経過中に肝内胆汁うっ滞および貧血を伴ったA型急性肝炎の1例. 第55回日本消化器内視鏡学会信越支部地方会, 2003, 11, 松本.
- 64) 宮林千春, 蓮本佑史, 窪田芳樹, 森田誠市, 唐木芳昭: 経皮経肝の内視鏡下で処理しえなかった超高齢者の胆嚢結石の1例. 第33回日本消化器病学会信越支部例会, 2003, 11, 松本.
- 65) 矢田 豊, 薛 峰, 高原照美, 野々目和信, 真野鋭志, 渡辺明治: Rho-kinase阻害剤の肝癌増殖・肝内転移抑制における肝星細胞の関与. 第17回肝類洞壁細胞研究会, 2003, 12, 東京.
- 66) 平野克治, 清水幸裕, 中山康弘, 峯村正実, 渡辺明治: 肝内でのGM-CSFの過剰発現はLPSに対する反応性を高め肝細胞のアポトーシスを誘導する. 第33回日本免疫学会総会, 2003, 12, 福岡.
- 67) 時光善温, 岸 裕幸, 近藤佐千子, 本多 立, 清水幸裕, 峯村正実, 村口 篤: 細胞マイクロウェルアレイ法によるB型肝炎ウイルス抗原特異的抗体の作製. 第33回日本免疫学会総会学術集会, 2003, 12, 福岡.
- 68) Murakami J., Shimizu Y., Kashii Y., Ebata K., Kato T., Watanabe A.: Oligoclonal expansion of B cells in the livers of hepatitis C virus infection may be associated with the

- development of B-cell non-Hodgkin lymphomas. The 6th International Symposium on predictive oncology & intervention strategies. 2002, 2, Paris (2002年追加).
- 69) 村上 純, 清水幸裕, 村田浩之, 江幡和美, 加藤勤, 樋口清博, 渡辺明治, 吉田淑子, 高屋憲一: 慢性肝疾患における肝内樹状細胞の分布と活性化について. 日本解剖学会第62回中部支部学術集会, 2002, 10, 富山 (2002年追加).
- 70) 小野知己, 蓮本祐史, 村上 純, 真野鋭志, 北啓一朗, 江幡和美, 加藤 勤, 樋口清博, 渡辺明治: C型肝硬変を伴い, 抗CD20モノクロナル抗体 (Rituximab) が奏効した再発・治療抵抗性の濾胞性リンパ腫の1例. 内科学会北陸地方会, 2002, 6, 金沢 (2002年追加).
- 71) 岸 遂忠, 江幡和美, 牧本 敦, 村上 純, 矢田 豊, 折原正周, 安村 敏, 加藤 勤, 樋口清博, 渡辺明治: 小児ALLプロトコールCCG1882 (Children's Cancer Group) による治療を行った18歳のB Precursor ALLの1例. 日本血液学会北陸地方会, 2002, 7, 金沢 (2002年追加).
- 72) 大岩亜子, 宮林千春, 寺尾ゆみ子, 塚田健一郎, 窪田芳樹, 永井 稔, 片倉正文: 著明なインスリン抵抗性を示した肝硬変の2例. 第47回東信医学会, 2002, 10, 上田 (2002年追加).
- 73) 愛場信康, 村上 純: 家族内感染が疑われた成人発症サイトメガロウイルス肝炎の1例. 第45回日本感染症学会中日本地方会, 2002, 11, 大阪 (2002年追加).
- 74) 寺尾ゆみ子, 宮林千春, 大岩亜子, 塚田健一郎, 永井 稔, 片倉正文, 窪田芳樹, 齋藤唐木芳昭: 救命し得た超高齢の巨大胆石イレウスの1例. 第53回日本消化器内視鏡学会甲信越地方会, 2002, 11, 新潟 (2002年追加).
- 75) 大岩亜子, 宮林千春, 寺尾ゆみ子, 塚田健一郎, 窪田芳樹, 齋藤文良, 唐木芳昭: 救命し得た超高齢の巨大胆石イレウスの1例. 第53回長野県医学会, 2002, 11, 長野 (2002年追加).
- 76) 梶谷敏孝, 真野鋭志, 北 啓一朗, 江幡和美, 村上 純, 加藤 勤, 清水幸裕, 高原照美, 樋口清博, 渡辺明治: 化学療法によりQOLが改善した高齢者悪性リンパ腫の1例. 第13回老年医学会北陸地方会, 2002, 12, 富山 (2002年追加).
- 77) 三室マリ子, 岩城直子, 境 美代子, 村上佳子, 浜 祐美, 山本洋子, 山下優子, 山口千鶴子, 名倉智美, 薄田勝男, 齋藤光和, 折原正周, 萬谷直樹, 田中三千雄: 内視鏡治療患者を対象にしたクリティカルパスの運用と評価. 第3回富山医科薬科大学看護学会学術集会, 2002, 11, 富山 (2002年追加).
- 78) 牧野 勇, 北條莊三, 寺田逸郎, 野手雅幸, 澤崎邦広, 藤田秀春, 七澤 洋, 伊藤博行, 金山雅美, 工藤 浩, 田中三千雄: 食道胃接合部から約16cm口側の食道壁まで浸潤した進行胃癌の1例. 第80回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 2002, 12, 金沢 (2002年追加).
- ◆ その他
- 1) 渡辺明治: ロイシンはL6筋細胞のホスファチジルイノシトール3-キナーゼ, p70S6キナーゼとグリコーゲン合成酵素の活性を調節する-ロイシンによるアミノ酸輸送 (システムA) の促進にmTORが関与. 栄養-評価と治療 20:86-87, 2003.
- 2) 渡辺明治: 第6回日本病態栄養学会年次学術集会を終えて. 日本病態栄養学会誌「病態栄養」6: 83-86, 2003.
- 3) 渡辺明治: 特集にあたって-食品からのゲノム創薬とオーダーメイド栄養学を目指して. 栄養-評価と治療 20:138-139, 2003.
- 4) 渡辺明治: 第6回日本病態栄養学会. 栄養-評価と治療 20:203-205, 2003.
- 5) 渡辺明治: 肝性脳症-定義, 名称 (分類), 診断と定量的評価法: 第11回世界消化器病学会誌 (1998年, ウィーン) の最終報告. 栄養-評価と治療 20:212-219, 2003.
- 6) 渡辺明治: 第三内科医局紹介. 医報とやま 1336: 6-7, 2003.
- 7) 渡辺明治: ロイシンは肝星細胞からのHGF分泌を促進する. 栄養-評価と治療 20:336-337, 2003.
- 8) 渡辺明治: CCl₄誘発肝線維化の食事グリシンによる治療. 栄養-評価と治療 20:430-431, 2003.
- 9) 渡辺明治: 分岐鎖アミノ酸は肝硬変患者でみられる耐糖能低下を改善する. Modern Physician 23:1429-1434, 2003.
- 10) 渡辺明治: 特集にあたって-アミノ酸の生理機能: 新しい展開. 栄養-評価と治療 20:468-469, 2003.
- 11) 渡辺明治: C型肝炎ウイルスのE2エンベロープ蛋白に結合するラクトフェリンペプチドの同定. 栄養-評価と治療 20:524-525, 2003.
- 12) 渡辺明治: 栄養と免疫との関係-食と薬と健康と. 武田薬報 435:11-15, 2003.
- 13) 渡辺明治: 肝硬変: 肝不全の治療と肝癌の予防. 平成15年度日本肝臓学会教育講演会テキスト 25-

52, 2003.

- 14) 渡辺明治: ラクトフェリンを12ヶ月間にわたり投与したC型慢性肝炎患者の長期追跡. 栄養—評価と治療 20:636-637, 2003.
- 15) 渡辺明治: 臨床栄養Updateエージング過程の栄養免疫そしてゲノム創食. 長野県医学会雑誌 33:129-131, 2003.
- 16) 渡辺明治: 序. 「小腸機能からみた経腸栄養ハンドブック」渡辺明治編, メディカルレビュー社, 大阪, 1, 2003.
- 17) 渡辺明治: 医想. 食べ物に託されるメッセージ. Pharma Med 21:9-10, 2003.
- 18) 三原 弘, 北 啓一郎: Sister Mary Joseph's nodule (SMJN). JIM臨床画像コレクション 8: 742, 2003.

皮 膚 科 学

Dermatology

教授	諸橋 正昭	Masaaki Morohashi
助教授	檜垣 修一	Shuichi Higaki
講師	豊田 雅彦	Masahiko Toyoda
講師	北川 太郎	Taro Kitagawa
助手	日野 孝之	Takayuki Hino
助手	中村 元一	Motokazu Nakamura
助手	高島 秀樹	Hideki Takashima
助手	牧野 輝彦	Teruhiko Makino
助手	中田 芳	Kaori Nakada
技官	松永 憲治	Kenji Matsunaga

◆ 著 書

- 1) 諸橋正昭: 漢方薬. 「皮膚疾患最新の治療2003-2004」新村真人, 瀧川雅浩編, 251-253, 南江堂, 東京, 2003.
- 2) 諸橋正昭: 皮膚付属器疾患. 「ダイナミックメディスン 第7巻」下条文武, 斉藤 康編, 72-74, 西村書店, 東京, 2003.
- 3) 諸橋正昭: 付属器疾患. 「皮膚科専門医試験問題解説集—既出問題とその解説」小野友道, 溝口昌子編, 114-117, 金原出版, 東京, 2003.
- 4) 諸橋正昭: 酒皰様皮膚炎, 口囲皮膚炎. 「今日の治療指針2004」山口 徹, 北原光夫編, 842-843, 医学書院, 東京, 2003.
- 5) 檜垣修一: 深在性細菌感染症, 「最新皮膚科学大系 第14巻 細菌・真菌性疾患」玉置邦彦ほか編, 73-84, 中山書店, 東京, 2003.
- 6) 檜垣修一, 諸橋正昭: 漢方薬, 「最新皮膚科学大系 第2巻 皮膚科治療学・皮膚科救急」玉置邦彦ほか編, 148-152, 中山書店, 東京, 2003.
- 7) 檜垣修一: 丹毒. 「皮膚疾患最新の治療 2003-2004」新村真人, 瀧川雅浩編, 131, 南江堂, 東京, 2003.
- 8) 豊田雅彦, 諸橋正昭: 爪の変化. 「最新皮膚科学大系第18巻 全身疾患と皮膚病変」玉置邦彦ほか編, 236-246, 中山書店, 東京, 2003.
- 9) 豊田雅彦: 爪疾患. 「皮膚疾患最新の治療 2003-2004」新村真人, 瀧川雅浩編, 209-210, 南江堂, 東京, 2003.
- 10) 豊田雅彦, 諸橋正昭: 血管の紫外線による加齢変化. 「太陽紫外線防御研究委員会学術報告13(1)」太陽紫外線防御研究委員会, 35-42, 2003.

◆ 原 著

- 1) Toyoda M., Nakamura M., Makino T.,